

(2) 看護学科

I. 教学関係

1. 教学委員会

看護学科教学委員会は、看護学科教学委員長1名、看護学科教学委員原則4名をもって構成され、定例として毎月1回開催している。

教学委員は以下のとおりである。

2022年4月～2023年3月

教学委員長 田中 幸子教授

教学委員 小谷野康子教授、嶋澤 順子教授、梶井 文子教授、高橋 衣教授

2. 教学関連の主な事項

- ① 2022年度は、1年生61名、2年生62名、3年生57名、4年生60名で新学期を迎えた。
- ② 2022年度オリエンテーションは、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、一部e-learningにて実施した。1年生には4月7日～15日にカリキュラムおよび慈恵メールやe-learningの使用法、健康チェックの入力法などの説明を行った。2～4年生には4月4日に選択科目や実習に関する説明を行った。また、4月14日には卒業生をシンポジストに迎え、シンポジウム（生涯発達とキャリア開発のために）を開催した。
- ③ 2～4年生の科目横断総合試験は、自身の知識獲得状況を確認し、今後の学修課題を明確にすることを目的として行っているが、今年度は4月5日にe-learning上で実施した。
- ④ 登校授業については、新型コロナウイルス感染拡大の影響を勘案し、感染対策を徹底の上実施し、臨地実習についても事前に臨地での実施が出来ない場合、臨地と学内演習、遠隔実施の混合型など幾つかのシラバスパターンを作成し、状況に対応できるようにした。
- ⑤ 4月9日に1年生保護者説明会、6月25日に全学年の保護者を対象とした学生に関する情報交換会を実施した。
- ⑥ 次の期間に定期試験を実施した。
前期 7月2日、9日、23日、8月22日～8月26日、9月12日～9月24日
後期 12月17日、1月23日～2月3日
- ⑦ 第30期生の「看護への思いを新たにする式」を、7月30日に挙行了した。
- ⑧ 新型コロナウイルスの影響により中止していた英国キングスコレッジロンドン、国立台湾大学、国立シンガポール大学との交換留学を再開した。
- ⑨ 10月28日、解剖諸霊位供養法会が行われ、学生代表が参加した。
- ⑩ 11月5日、4年生の看護研究発表会を開催した。
- ⑪ 11月12日、学祖高木兼寛先生の墓参に、学生代表が参加した。
- ⑫ 12月23日、拡大カリキュラム情報交換会をTV会議システム（Zoom）にて開催した。
- ⑬ 3月4日、医学科と合同による卒業式が西新橋キャンパスで行われ、60名が卒業し、慈大賞、同窓会賞、保護者会賞がそれぞれ贈られた。
- ⑭ 3月24日、兼任教員、非常勤講師を交え、講師会をTV会議システム（Zoom）にて開催した。
- ⑮ 雇用者・卒業生アンケート、在学生・教員アンケートなどを基にディプロマ・ポリシーに沿ったカリキュラム評価を行った。

II. 入学試験

1. 2023年度入学試験では、学校推薦型選抜（指定校制）入学試験として、11月19日に小論文と面接を行った。一般選抜入学試験は、2月5日に一次試験（筆記試験）を、2月8日に二次試験（面接）を実施した。英語外部資格検定試験のスコア利用は3回目となった。志願者は298名（うち学校推薦型選抜3名）であり、学校推薦型選抜も含めた入学者は60名（うち学校推薦型選抜3名）であった。

なお、本年度は、新型コロナウイルス罹患者や濃厚接触者のための追試験を実施した。

入学者の内訳は次の通りである。

- ① 女子 56名、男子 4名

- ② 現役 57名、1浪 3名
- ③ 地域別（高校所在地別）入学者数

北海道	1名
茨城県	1名
栃木県	2名
群馬県	1名
埼玉県	7名
東京都	35名
神奈川県	10名
新潟県	1名
富山県	1名
静岡県	1名

- 2. 2022年度は、オープンキャンパスを7月19日、8月21日、10月30日の3日間、Web個別相談会を7月24日、8月9日、3月28日の3日間で開催した。その他、学外で開催された大学進学ガイダンス等に学事課職員が参加し、受験生の確保を推進した。

Ⅲ. 国家試験

第112回看護師国家試験は2023年2月12日に、第109回保健師国家試験は2023年2月10日に実施され、3月24日に合格発表が行われた。結果は下記のとおりである。

看護師 61名受験（既卒1名）、61名合格 合格率 100.0%（全国平均90.8%）

保健師 19名受験（既卒0名）、19名合格 合格率 100.0%（全国平均93.7%）

Ⅳ. 学生生活アドバイザー

若手教員が1、2年生の5～6名の学生を担当し、前期、後期にそれぞれ適宜活動を行った。特に1年生担当については、遠隔学習環境に関する相談や学習や生活上の悩みなど、コロナ禍での学生のメンタル面を支える手段として有益であった。

Ⅴ. 進路指導関係

ナース就職支援室と協力し、附属病院の就職説明会やインターンシップを行った。

2023年3月卒業生60名の進路の内訳は、次のとおりである。

本学附属病院への就職	32名
進学	7名
保健師として就職	3名
他病院	18名

Ⅵ. その他

- 1. 看護学科、大学院看護学専攻が、附属病院、地域住民、地方自治体および地方の保健医療福祉機関と連携し、地域住民の健康と生きる力を看護の力で支える活動を組織的に展開することを目的とする地域連携看護学実践研究センター（JANPセンター）が開設5年目を迎えた。みんなの活動、みんなのまなび場、みんなの保健室の3部門の活動とともに、2022年度は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、臨地実習の機会の少なかった卒業生の臨床現場への移行期支援を行った。
- 2. 10月8日（土）、看護学科開設30周年記念式典、記念講演、記念祝賀会を西新橋校2号館講堂で開催した。調布市長ならびに狛江市長をはじめ多くのご来賓の方々にご臨席いただき、看護学科の歴代教授、卒業生などの参列のもと、イアン ノーマン先生（キングスカレッジロンドン ナイチンゲール看護学校前校長）による招聘講演「ナイチンゲール看護学校の歴史の概観と日本における黎明期の看護教育へ与えた影響について」が行われ好評を得た。学生においては、遠隔システムにてライブ視聴した。また、本記念行事に伴い「東京慈恵会医科大学医学部看護学科開設30周年記念誌」を発刊した。